

議事録

町田商工会議所

作成者：産業政策課 日下

会議名	令和4年度町田商工会議所 経営発達支援計画評価会議	
開催日時	令和5年2月21日(火)	14:00~15:10
開催場所	WEB(オンライン)	
出席5人 (順不同・敬称略)	(委員4名)前田進、太細貞治、福島昭宏、長谷川英伸(オブザーバー:町田市1名)朽木雄介/(事務局2名)林忠司、日下啓太	
議事内容	<p>1. 開会(司会:日下)</p> <p>2. 委員長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)マネジメントコア前田の前田進委員長から挨拶 <p>3. 議題</p> <p>(1) 令和4年度実施状況について</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績一覧表を基に実施内容について概要を説明し、今年度トピックスとして次の2点については詳細に説明した。 ◆ I-5 事業計画策定後の実施支援に関すること① <p>個別フォロー回数が少ないことに関して、資料3を用いて原油価格等材料費の急激な高騰による影響を受けた事業者が多く存在したため、策定した事業計画の遂行よりも現状の対策を優先し、「町田市原油価格等高騰対策事業」をおこない、約5,400事業所、約3億円となった結果を報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ I-6 需要動向調査に関すること①、② <p>及び I-7 新たな重要な開拓に寄与する事業に関すること②</p> <p>「看板商品プロデュース事業」として資料3を用いて説明。7事業者の看板商品に対して、商品力の向上と販路の改善・開拓支援の結果を報告した。</p> <p>【委員からの発言要旨】</p> <p>〈評価について〉</p> <p>前田氏 I-7の評価Cは厳しいように思える。確かに広域ビジネス交流会の件数だけで言えばBとなるのかもしれないが、事務局の報告ではAに値すると思われる。</p> <p>太細氏 I-7の評価CはBでよいと考える。I-2に関してもCではなくBが妥当ではないか。II、IIIの項目について評価しないのはなぜか。</p> <p>福島氏 税理士会として地域事業者への支援が行きわたりにくい、新規創業者に対する支援を行っている点はよいことである。創業から法人成りし、税理士に依頼する良い流れができるとよいと考える。</p> <p>長谷川氏 専門領域での観点では、今後、小規模事業者は価格転嫁が課題と思われる。売上が戻っても付加価値があがっていない、利益が残っていないという状況。会議所の支援でよい結果が出たのであれば、共通点を抽出し、今後活かしていただきたい。</p> <p>佐藤氏 計画策定時と現在とでは状況が大きく変わっている。I-2の評価Cについては、中心市街地活性化協議会が解散し、調査事業を実施しない状況であるため計画の実績を作ることにはできない。事務局案による評価は厳しくつけていると考えられる。</p>	

〈今後について〉

前田氏 街としての魅力を向上させる取り組みも重要。ウェルビーイングにつなげる取り組みも。

太細氏 賃上げ圧力、価格上げ交渉など事業のしやすい環境を整えるため、交渉に関する支援を
り組まれてはどうか。

福島氏 原油価格高騰対策に関しては税理士会としても協力をした。今後も事業者に対する協力を
していきたい。プロデュース事業は完成度があがっている。今後にも期待している。

長谷川氏 調査結果などのマクロ的観点をしっかりと令和5年度事業に活かしてほしい。

【評価会議の結果】

前田委員長より各委員の意見を聴取し、まとめた結果、I-7の評価を事務局案から1つ引上げ
ることとなった。

I-7 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(事務局案) C → (評価会) B

4. 閉会 (事務局)

次回会議

未定